

1 開 会

出席 (学 校) 中川校長、瀧澤副校長、三條教頭(全日)、武藤教頭(定時)、管野事務長
(評議員) 春田淳一、黒元浩志、太田隆久、前野史賀 <敬称略>

2 内 容

- (1) 委嘱状伝達及び校長挨拶
- (2) 自己紹介
- (3) 平成28年度北海道滝川高等学校学校経営方針について
 - ・全日制及び定時制のシラバスについて
- (4) 学校評議員会開催計画について
- (5) 学校概要説明
 - ・全日制 学校概要について(三條教頭)
 - ・定時制 学校概要について(武藤教頭)
- (6) 意見交換

【全日制】

- ・黒元評議員 : 土曜授業は年間で何日実施か。
(回 答): 年間6日間実施しており、直近では6月4日に試験で土曜日を活用する予定。
- ・黒元評議員 : 学校は同窓会との連携もより積極的に行っていただきたい。
- ・黒元評議員 : P T Aの進学学習会は年何回行っているのか。
(回 答): 毎年各学年1回行っている。
- ・黒元評議員 : 進学塾等から講師を招いて講演を実施するのもよいが、実際の進学上の苦労話や体験談などの生の声こそが大事だと思うがどうか。
(回 答): 生徒の受検体験談などは進路のしおりや進路だよりにも載せるようにしている。
- ・黒元評議員 : 本校のP T Aは定時制も含めた単一組織であるので、定時制にももっと関わってほしいし、地域の人々にも本校の定時制のすばらしさをアピールできるようにしてほしい。
(回 答): 定時制の優位性や必要性も十分理解してもらえよう、地域に発信していきたい。
- ・太田評議員 : 町内会の立場で申し上げると、滝川高校は、昔は、大学への進学ばかりではなく、就職面でも競争率の高い企業や銀行に入っていたので、これからも進学ばかりに目を向けるのではなく、就職にも強い滝川高校になってほしい。
- ・太田評議員 : 定時制の資料の中に教育活動の紹介で交通安全活動が載っているが、何人ぐらい参加したのか。
(回 答): 定時制では全員参加を基本としている。
- ・太田評議員 : 交通安全はとくに重要で、町内会でも交差点などで旗ふりなどの運動も行っているが、学校でも自転車通学時の歩道の通行など特に注意し、指導してほしい。
- ・太田評議員 : 救急救命講習も非常に大事であるが、これも全員参加か。
(回 答): 定時制の教員・生徒全員参加で実施している。
- ・春田評議員 : S S Hは開始から4年目になるが、理数科ばかりでなく普通科に対する効果はいかがか。
(回 答): S S H活動は、全校体制を重視し、昨年度から普通科の公募を増やし、理数科、普通科を問わず参加できるような取組を行っている。
- ・前野評議員 : 過去に子供を大学に進学させたが、当時、入試の仕組みがよく解らなかったので、早いうちに子供や親の方に情報を提供してほしい。以前は、滝川高校は推薦入学にあまり積極的でない印象を持ったが、制度を活用したい生徒もいると思うので学校が持っている推薦枠に対する活用方法などの情報や各大学の推薦枠の基準なども教えてほしいと思う。
(回 答): 入試制度も様々なかたちで複雑になってきており、親にとっても非常に解りにくいので、学校としても早めに情報を提供できるようにしたいと考えている。

- (7) 閉 会 校長挨拶